2027 年度

公立大学法人大阪 大阪公立大学

看護師特定行為研修 募集要項

Osaka
Metropolitan
University

〒 545-8586
大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
大阪公立大学医学部附属病院 看護部 看護師特定行為研修事務局
TEL ： 06-6645-2501
FAX ： 06-6646-6011

1.　大阪公立大学医学部附属病院の沿革、理念・基本方針

公立大学法人大阪 大阪公立大学は、2022 年4月、大阪府立大学、大阪市立大学を母体に、幅広い学問領域を擁する全国最大規模の公立総合大学として誕生しました。このうち、大阪市立大学は、1880 年に創設された大阪商業講習所を源流とした歴史ある大学であり、これまで豊かな人材を輩出してきました。

大学の附属施設である医学部附属病院は、地域医療の中核を担い、高度急性期病院としての役割を果たしています。

1）理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき

- 地域住民の健康に寄与する質の高い医療を提供します
- こころ豊かで信頼される医療人を育成します
- 医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

2）基本方針

- 患者さん本位の安全で質の高い医療を提供します
- 地域医療の向上に寄与します
- 健康・予防医学を推進します
- 最新の高度医療の提供をします
- 人間味豊かな優れた医療人を育成します
- 新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- 質の高い多彩な研究を推進します

2.　大阪公立大学医学部附属病院における特定行為実践の目指すところと看護師特定行為研修の特徴

1）大阪公立大学医学部附属病院における特定行為実践の目指すところ（メトロポリタンモデル）

本院における看護師特定行為は、高度急性期病院としての特徴を活かし、急性重症者（主に人工呼吸療法）対応を主に据え、集中治療センター（ICU・CCU）・救命救急センター・HCU などの重症系ユニットでの実践をメインとします。

重症系ユニット以外の病棟においても、担当医師による指示に加え、医療チームに紐づく特定行為の実施を目指しています。

2）看護師特定行為研修の特徴

(1)メトロポリタンモデルを志向し、さまざまな病態や治療を学び、それらに対する思考・分析、特定行為実践を経験します。研修生の所属部署、専門領域に応じて、修了後の特定行為実践を想定した内容の研修を行っています。

(2)医学教育経験に実績のある医師、専門・認定看護師、特定行為研修修了者を指導者として各科目に配置し、シミュレーターが豊富に揃う医学部スキルスシミュレーションセンター（SSC）での演習・実習など効果的な学習が実施できる体制を確保しています。また、学習はeラーニングを用いることで就業しながら行うことができ、集合研修や臨地実習においても、大阪市内という立地からアクセスが良く、通学しやすい環境にあります。

3.　特定行為研修の教育目的と教育目標

1）教育目的

本院の理念をもとに、質の高い安全な医療が提供できる優れた実践能力、高度な専門知識を有し

医学・看護の視点から多様な臨床場面において役割モデルとしての実践力を発揮でき、「チーム医療」を推進できる調整力、問題解決能力を有する看護師を育成します。

２） 教育目標

(1)地域医療または高度先進医療の現場において重大な病態の変化や疾患を包括的にアセスメントし、当該特定行為を行うための知識・技術・態度の基礎的な能力を養います

(2)患者の倫理面・安全面に配慮して、必要な特定行為を実施する基礎的な能力を養います

(3)円滑なチーム医療推進のため、多職種が高い専門性を発揮し、協働して効果的に問題解決を行うための調整役としての能力を養います

(4)自己研鑽を継続し、医学的・看護的視点において看護実践を確立する能力を養います

4. 研修内容と時間数

研修は、特定行為の基礎となる共通科目（必須）と、選択制の区分別科目からなります。

１） 共通科目

- 講義はeラーニングを活用し、個人で視聴・学習をします。
- 演習・実習は、月に 2～3 回程度の指定日に医学部・看護学部学舎、または医学部附属病院に集合し、研修を実施します。

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30
臨床推論	45
フィジカルアセスメント	45
臨床薬理学	45
疾病・臨床病態概論	40
医療安全学	45
特定行為実践	

２） 区分別科目

- 共通科目を修得した後に、区分別科目を学習します。
- 講義・演習は、eラーニングを活用します。演習、実技指導は集合して研修します。
- 実技指導、実技試験（OSCE）は、医学部スキルスシミュレーションセンターで実施します。
- 実習は、医学部附属病院の急性重症・救急領域部門、一般病棟及び外来、手術室等で行います。
- 実習では、特定行為ごとに、臨床実践を5症例以上実施することが必要です。
- 実習、実習中の観察評価は、医学部附属病院で実施します。

(1)急性重症ケアコース（オリジナルコース）

集中治療医、心臓血管外科医などとのチーム医療を推進し質の高い治療や看護を提供する特定行為をパッケージ化した「集中治療領域パッケージ」に、特定行為：直接動脈穿刺法による採血を加えたオリジナルのコースです。

特定行為区分	特定行為	時間数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9.5
呼吸器（人工呼吸療法に係る	侵襲的陽圧換気の設定の変更	23

もの)関連	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
循環器関連	一時的ペースメーカの操作及び管理	10
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	7.5
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	14.5
	橈骨動脈ラインの確保	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	20
	持続点滴中のナトリウム・カリウム及びクロールの投与量の調整	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	

(2)一般病棟コース(オリジナルコース)

重症系ユニット以外の病棟における行為実践を想定した特定行為区分です。主科医師あるいは医療チームの指示のもと、在宅移行支援を視野に入れた特定行為実施を目指します。

特定行為区分	特定行為	時間数
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	7.5
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	16
	脱水症状に対する輸液による補正	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	16

(3)周術期麻酔領域パッケージコース

周術期管理チームの一員として、麻酔科専門医の指示のもと、周術期に必要な特定行為実践能力を修得し、多職種と協働しながら安全で質の高い高度急性期医療の提供を目指すコースです。

特定行為区分	特定行為	時間数
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9.5
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	17
	人工呼吸器からの離脱	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	14.5
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	11
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	12

※オプション特定行為区分

上記3コースに以下の区分研修を追加ことが可能です。

特定行為区分	特定行為	時間数
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	7.5
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	14.5
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	16
	脱水症状に対する輸液による補正	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	16

＊区分別科目の選択

受講希望者のキャリアや組織のニーズに応じて科目を選択して履修します。科目は、一つから選択可能で、複数を組み合わせて選択することもできます。選択する科目により、重症系ユニットで症例を取得することがあります。それを踏まえ、必要なものを選択してください。

科目選択において、重症系ユニットでの特定行為実施を考えている場合には、オリジナルコース「急性重症ケアコース」を推奨します。一般病棟での特定行為実施を考えている場合には、一般病棟コース」を推奨します。手術室での特定行為実施を考えている場合には、「周術期麻酔領域パッケージコース」を推奨します。

3） 履修免除について

既に履修した科目について、共通科目の各科目又は区分別科目の全部又は一部の履修を免除する場合があります。履修免除を申請する場合は、出願時に既修得科目履修免除申請書及び特定行為研修修了証の写しを提出してください。

5. 研修期間

2027 年 4 月 1 日(木)～2028 年 3 月 31 日(金) 1 年間

＊選択した区分別科目数によって研修期間は異なります。

6. 修了要件

本研修を修了するためには、以下の要件を満たす必要があります。

共通科目、区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験、実習中の観察評価など科目ごとの合格を要件とします。なお、修了判定は特定行為研修管理委員会で行われます。

特定行為区分に含まれる特定行為を全て修了すると、修了証が発行されます。「急性重症ケアコース(オリジナルパッケージ)」「周術期麻酔領域パッケージコース」については、該当する特定行為を全て修了することが、コースの修了証発行の条件です。

7. 出願要件

看護師特定行為研修の出願に当たり、下記の要件すべてを満たしていることが必要となります。

1） 日本国の看護師免許を取得している

2） 看護師経験年数が通算 5 年以上、かつ、希望する特定行為区分領域の看護経験が概ね 3 年以上ある

3）就労しながら本研修を受講する強い意志と意欲がある
4）所属施設において、特定行為研修受講に向け学業優先の協力、受講後の特定行為実践への支援が得られる
5）「周術期麻酔領域コース」の出願時は、日本麻酔科学会認定「周術期管理チーム看護師」の資格を有することが望ましい

8. 定員

定員は 10 名です。但し、定員の範囲内であっても、急性重症ケアコースを含めた合計受講者数によっては受講調整を行うことがあります。

特定行為研修コース	定員
急性重症ケアコース（重症系ユニットでの特定行為実施を想定するオリジナルコース）	5
一般病棟コース（一般病棟での特定行為実施を想定するオリジナルコース）	5
周術期麻酔領域コース（手術室での特定行為実施を想定するコース）	

9. 出願期間

2026 年 11 月 17 日（火）～2026 年 12 月 22 日（火） 17 時 必着

10. 出願について

1）WEB 登録

登録は右記もしくは大阪公立大学医学部附属病院ホームページより行い、12 月 18 日（金）17 時までに完了させてください。選考試験に関する重要な案内を配信します。受験終了まで変更や削除の可能性がなく、日常的に容易に確認できるメールアドレスを登録してください。



2）出願書類

(1)看護師特定行為研修志願書 ［様式 1］
(2)履歴書 ［様式 2］
(3)受講動機 ［様式 3］
(4)推薦書 ［様式 4］
(5)看護師免許証の写し（A4 サイズにしたもの）
(6)受講審査料の振込確認書類の写し（振込伝票、利用明細票、または振込完了画面の印刷物）
(7)既修得科目履修免除申請書（該当者のみ） ［様式 5］
(8)(7)の免除に該当する特定行為研修修了証明書の写し（該当者のみ）
(9)周術期管理チーム看護師認定証の写し（該当者のみ）

＊出願書類は、大阪公立大学医学部附属病院ホームページよりダウンロードしてください。

＊提出書類の記入にあたって

申請書類	様式	記入方法と注意事項
看護師特定行為研修志願書	1	・受付番号は空欄とする ・記載は自署とする

履歴書	2	・受付番号は空欄とする ・所属施設名は正式名称を記載する ・メールアドレスは、Web 登録と同様とすること。携帯電話やGmail、Yahoo!メールなどのフリーメールでも可 ＊「所属部署師長あるいは所属長の推薦」欄は、大阪公立大学医学部附属病院看護職は所属部署師長、上記施設以外の看護職は所属長が、自筆で記載する ＊推薦に当たっては、所属部署師長あるいは所属長（推薦者）と、受講を希望する理由、研修修了後の特定行為における抱負、また研修修了後に期待する役割や活動につき話し合っておくこと
受講動機	3	・受付番号は空欄とする ・受講動機 「看護師として活動している状況と課題を踏まえ、特定行為研修を受講し今後どのように貢献したいか」を記載する
推薦書 ＊大阪公立大学医学部附属病院以外の看護職のみ提出	4	・受付番号は空欄とする ・推薦書は、本人が所属する所属長が、出願者に特定行為研修修了後に期待する役割等について記載する ・厳封すること

・提出書類は過不足なく記入してください。書類に不備がある場合は、受講審査が受けられない、もしくは採用評価に影響があります。
・自署以外はパソコン入力を可とします。自署はボールペンを用い、消せるペンを使用しないでください。
・年号はすべて西暦表示としてください。
・提出後の出願書類は返却いたしません。

1） 出願書類提出方法

上記の出願書類を封入の上、角形2号（A4）封筒に「特定行為研修　志願書在中」と朱書きのうえ、下の提出先に必ず「簡易書留」で送付するか、「封印状態」で直接持参してください。

提出先及び問い合わせ窓口

〒545-8586　大阪市阿倍野区旭町１丁目５番７号
大阪公立大学医学部附属病院　看護部　看護師特定行為研修事務局
TEL: 06-6645-2501　FAX: 06-6646-6011

2） 受講審査料

（1） 出願 Web 登録後、登録アドレスに受講審査料の銀行振り込み先についてメールします。￥12,000（消費税含む）を納入してください。

（2） 振込手数料は受講希望者の負担となります。受講審査料は、いかなる理由があっても返却いたしません。

11. 選考方法及び日時、場所

選考方法：書類審査および面接

＊受講審査料の納入が確認できた方に、面接に関する通知を郵送します。

＊面接は、2027 年１月６日（水）午後に実施する予定です。

＊選考試験の詳細を事前登録のメールアドレス宛にお送りします。12 月 23 日までに、メールが届かな

い場合は、上記「提出先及び問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

12．合否発表

受験者に合否通知書を郵送します。

電話やFAXでの合否問い合わせには応じません。

13．受講手続き

合否通知の際に、受講手続き及び研修受講料の振込についての詳細をご案内します。 なお、受講にあたっては「看護職賠償責任保険」の加入が必須となります。

14．研修受講料（税込み）

1） 大阪公立大学医学部附属病院看護職

研修受講料：原則無料

但し、本研修は病院の費用負担及び支援のもと実施されることから、研修修了後3年間の研修成果の組織還元及び活動実績報告への協力に関する「看護師特定行為研修受講に係る誓約書兼成果還元確認書」を提出していただきます。

2） 上記施設以外の看護職

		金額
共通科目		360,000円（税込）
領域別パッケージ	急性重症ケアコース（集中治療領域パッケージ＋特定行為直接動脈穿刺法による採血）	395，000円（税込）
	周術期麻酔領域コース	275，000円（税込）
区分別科目	呼吸器（気道確保に係るもの）	60，000円（税込）
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）	73，000円（税込）
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）	63，000円（税込）
	動脈血液ガス分析	74，000円（税込）
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与	55，000円（税込）
	血糖コントロールに係る薬剤投与	55，000円（税込）

＊研修受講料は、共通科目＋パッケージコースあるいは共通科目＋区分別科目の合計金額となります。

＊上記費用の他に、テキスト費用等が発生することがあります。

15．その他

大阪公立大学医学部附属病院看護職は、特定行為研修受講前に行ったｅラーニング視聴学習を条件により受講済みとして免除する受講前学習制度を用いることもできます。

16．備考

1） 提出書類は、この選考試験にのみ使用します。但し、合格者の提出書類については、合格後の事務手続きなどに使用することがあります。

2） 提出書類は、「大阪府個人情報保護条例」及び「公立大学法人大阪における個人情報の取り扱い及び管理に関する規程」に基づき適正に管理します。

3） 受験資格がないこと及び申込用紙記載事項が正しくないことが判明した場合、合格を取り消すことがあります。